

第5回 国際常民文化研究機構 国際シンポジウム

渋沢敬三の資料学—日常史の構築—

日時： 2014年 3月9日(日) 10:00—17:20
会場： 神奈川大学横浜キャンパス 16号館視聴覚ホールB
主催： 国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所
後援： 日本学術会議 | 地方史研究協議会 日本文化人類学会 日本民具学会 日本民俗学
会 渋沢敬三記念事業実行委員会 国文学研究資料館 国立民族学博物館 国立歴
史民俗博物館 日本言語学会 日本社会学会 日本宗教学会 日本人類学会

【趣旨】

国際常民文化研究機構は、いつの時代、いつの地域においても大多数を占める普通の人々、“常民”の暮らしを対象とする資料論、分析視角や方法を、日本常民文化研究所と附置の非文字資料研究センターの所蔵する史・資料とデータベースを研究者コミュニティに公開・共有化し、さらに国際的に拡大、深化させるために設立されました。

本年は機構事業の総括の年であり、また、日本常民文化研究所の創設者・渋沢敬三没後50年の記念すべき年でもあります。そこで、“常民”概念、諸民族の生活文化を捉える民具をはじめとする諸資料を総合する資料学の有効性を検証し、グローバル化した今日、人々の相互理解を図るための世界常民学とも称すべき方向性を探り、併せてわが国で培われた学問の国際的有効性を問う機会にしたいと考えます。

総合司会 小熊誠（機構運営委員・日本常民文化研究所所員）

| | | |
|---|--|-------------|
| 【開会挨拶】 | | |
| 石積勝（神奈川県立大学学長） | | 10:00—10:05 |
| 【趣旨説明】 | | |
| 佐野賢治（第5回国際シンポジウム実行委員長・日本常民文化研究所所員） | | 10:05—10:15 |
| 【基調講演】 | | |
| 「ヨーロッパにおける日本関係コレクション —美術・工芸から民具へ—」 | | 10:15—11:15 |
| ヨーゼフ・クライナー（ボン大学 名誉教授） | | |
| 【パネル報告】 | | |
| 【民具】 「伝統的農具にみる中国農民史」 | | 11:15—12:15 |
| 曹幸穂（中国農業博物館 農業史研究所 前所長） | | （通訳含む） |
| — 昼食 — | | 12:15—13:15 |
| 【パネル報告】 | | |
| 【画像】 「お札の世界—世界のお札」 | | 13:15—13:45 |
| ジョセフ・キブルツ（フランス国立科学研究センター） | | |
| 【映像】 「映像に見る常民生活の伝統と再生」 | | 13:45—14:15 |
| 宮本瑞夫（宮本記念財団） | | |
| — 休憩 — | | 14:15—14:30 |
| 【音声】 「音盤に聴く東アジアの音楽交流—日本コロムビア外地録音資料を例に—」 | | 14:30—15:00 |
| 福岡正太（国立民族学博物館） | | |
| 【生活誌】 「農村生活文化調査の持続的な記録の必要性—長興群上金マウルの事例を中心に—」 | | 15:00—16:00 |
| 崔順権（韓国国立民俗博物館） | | （通訳含む） |
| — 休憩 — | | 16:00—16:15 |
| 【コメントおよび総合討論】 | | |
| 崔吉城 東亜大学教授・広島大学名誉教授 | | 16:15—17:15 |
| 佐藤健二 機構運営委員・東京大学教授 | | |
| 【閉会挨拶】 | | |
| 前田禎彦 機構次期運営委員長・日本常民研究所所員 | | 17:15—17:20 |
| 写真撮影 | | 17:20—17:35 |
| レセプション 1号館8階会議室 | | 18:00—20:00 |
| 司会・進行：泉水英計・田上繁（機構運営委員・日本常民文化研究所所員） | | |